

令和6年度 第1回 大阪府立大阪わかば高等学校学校運営協議会議事録

開催日時	令和6年7月26日（金） 15:30～17:00
開催場所	大阪府立大阪わかば高等学校 会議室
出席者（委員）	小笠原 忠承（会長）、山畠 和弘（副会長）、榎井 縁（委員）、筋原 章博（委員）、末 廣行（委員）
出席者（学校）	大西 俊猛（校長）、野地 千晶（事務長）、渡辺 創（教頭）、ミンハス 千春（首席）、田川 ひかり（教諭）、岡本 彩花（教諭）
協議資料	・令和6年度 学校経営計画に基づく本年度の取組みについて

議題等（次第順）
(1)校長挨拶
(2)委員・事務局員等の紹介
(3)資料確認 使用教科書選定理由について
(4)会長等選出
(5)協議 令和6年度 学校経営計画に基づく本年度の取組みについて
(6)校長謝辞
協議内容・承認事項等（意見の概要）
○会長・副会長の選出について 小笠原 忠承委員を「会長」、山畠 和弘委員を「副会長」とする。
○令和6年学校経営計画に基づく本年度の取組みについて（校長より） ・めざす学校像、中期的目標について、また、学校の概況や多様な背景を持つ生徒について説明。 ・本年度の課題：多様な学びの場となる高校としての位置づけの確立、広報活動の充実。 ・（首席より）2024年3月卒業生徒の広報用インタビュービデオ（5分程度）の紹介。
質疑応答 ・インタービュービデオをHPに掲載しないのか。 ⇒生徒の許可が取れれば掲載する予定。
○令和7年度使用教科用図書の採択について →意見なし、承認
○全体を通しての委員からの意見・質問 ・5年間、継続いて学校運営協議会に関わっているが、年々、学校運営協議会の質が良くなっているようを感じる。他校と比較して、個別の進路指導等が充実しているのではないか。是非アピールしてほしい。今後もさらなる伸びを期待している。 ・インタービュービデオが大阪わかば高校らしくていい。生徒が本音で話しているのがわかる。これで広報を充実させていってほしい。教員も含めてみんなが育っていっているような学校。生徒たちが自立していく様子も見た。良い雰囲気ができていると感じる。集団や人間関係が苦手な生徒も生き生きしている。 ・生野区は5人に1人が外国ルーツという状況であり、増加傾向にある。行政や制度だけでなく、すべての生徒が学ぶ機会を町ぐるみで作っていくことが必要。大阪わかば高校の生徒にも関わってほしい。学習面での支援は大阪わかば高校、就労支援は生野区などのように連携していきたい。 ・インタービュービデオが素敵だった。直の声が中学生に届くことは大きい。大阪市内に限らず、府内

に広げた方がリアルに伝わっていくだろう。是非とも広げていただきたい。校内でどんなことをしているのか発信していき、大阪わかば高校に目的を持って進学する生徒が増えてほしい。

- ・外国ルーツの生徒の中には日常会話に問題なくとも、進学後に学習面で苦しい部分が見つかるケースがある。生徒のその後の道を考えるとき、高校のことをさらに知る必要がある。中学生にとって、このようなインタビュービデオがあると高校への希望や期待が膨らむだろう。

次回の会議日程

日 時	令和6年11月15日 or 28日 or 29日 15:30~ (予定)
会 場	大阪府立大阪わかば高等学校 会議室